

【NEWS RELEASE】

「免許返納か、運転継続か」 だけではない 高齢ドライバーと家族に“客観的な判断材料”を 城山病院「運転脳ドック」を開始

記憶力だけでなく、注意力・判断力・反応速度など
安全運転に関わる 5 つの脳機能を多角的に評価

医療法人春秋会 城山病院（大阪府羽曳野市）は、中高年のドライバーや職業ドライバーを対象に「運転脳ドック」を開始しました。運転の可否を一律に判定するのではなく、安全運転に関わる脳機能を医学的に評価し、ご本人やご家族が今後の運転を考えるための客観的な判断材料を提供します。

■ なぜ今、「運転脳ドック」なのか

75 歳以上のドライバーは免許更新時に認知機能検査等の対象となり、警察庁も運転に不安のある高齢ドライバーや家族向けに安全運転相談を設けています。一方、日常の運転では記憶力だけでなく、周囲への注意、状況判断、反応、誤操作への気づきと修正など複数の情報処理が必要です。

本ドックは、免許更新時の認知機能検査とは別の自由診療として、こうした「運転に関わる脳機能」を多面的に確認する取り組みです。

■ 「認知症かどうか」だけでなく、運転に関わる機能をみる

5 つの機能

注意力／判断力／精神運動速度／反応速度／抑制・修正力

評価方法

UFOV を含む複数の神経心理学的検査 + MoCA-J。希望者には MRI も実施

■ 「やめる・続ける」の二択ではなく、今後を考える材料に

検査結果だけで運転の可否を一律に決めるものではありません。年齢相応の変化と運転に必要な能力を分けて評価し、低下がみられる機能への対処方法もアドバイスします。異常が疑われる場合には、専門医診察や MRI など必要な精密評価につなげます。

取材・撮影のご相談が可能です

検査・評価の様子 / 担当医師へのインタビュー / 高齢者の運転と脳機能についての解説

※警察庁の認知機能検査・安全運転相談に関する公表情報を社会的背景として参照。

運転脳ドック | 取材のポイント・概要

■ 担当医師コメント

「高齢になったからという理由だけで一律に運転をやめるのではなく、一人ひとりの脳機能を客観的に評価し、どのようにすればより安全に運転を続けられるかを考えることが重要です。将来的には、低下した機能に対するリハビリテーションと再評価まで含めた支援体制を構築し、生涯運転期間の延伸につなげたいと考えています」

脳・脊髄・神経センター 顧問 梶本 宜永 医師

■ 今後の構想：評価から、個別リハビリ・再評価へ

今後は、評価で明らかになった弱点に応じて、機能の維持・改善を目指す個別リハビリテーションプログラムの提供を予定しています。評価・介入・再評価まで含めた支援体制を構築し、「生涯運転期間」の延伸を目指します。

※個別リハビリテーションは将来構想です。介入効果を示す当院の臨床データではありません。

■ 取材で押さえていただきたい3つのポイント

- ① 免許返納を促すための検査ではなく、本人・家族が今後の運転を考えるための判断材料を提供すること
- ② 記憶力だけでなく、安全運転に関わる5つの脳機能を複数の検査で評価すること
- ③ 将来的には、弱点に応じた個別リハビリと再評価まで含む支援体制を目指していること

■ 本ドック概要

対象	中高年のドライバー、職業ドライバー
基本コース	15,000 円（税込）
MRI オプション付き	上記費用 + 18,000 円（税込）～ 各コースあり
留意事項	自由診療。将来の交通事故を予測したり、安全運転を保証したりする検査ではありません。

■ 病院概要・本件に関するお問い合わせ

医療法人春秋会 城山病院 〒583-0872 大阪府羽曳野市はびきの 2-8-1 院長：石橋 孝嗣 病床数：299 床 https://www.shiroyama-hsp.or.jp/index.html	地域連携室 担当：長崎 泰陪 TEL：072-958-1000 E-mail：nagasaki@shiroyama-hsp.or.jp 受付：平日 9:00～17:00
---	--

医学的な検査内容・根拠等の詳細は、別添の医師作成資料をご参照ください。